

防衛

Bouei Hokkaido
February 2017
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense

Vol. 50

北海道

平成29年2月号



アイスブロック工法により細密部分まで再現。

第68回 さっぽろ雪まつり



奈良・興福寺 中金堂（制作：陸上自衛隊第18普通科連隊）



凱旋門（制作：陸上自衛隊北部方面通信群）

目次

- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練） … 2
- ・防衛問題ミニセミナーを開催しました … 3
- ・南スーダン派遣施設隊（第10次要員）帰国 … 4
- ・派遣施設隊（第10次要員）防衛技官2名も帰国 … 5
- ・平成29年白馬連隊年頭訓練 … 5
- ・ミサイル駆逐艦「マッキャンベル」小樽港寄港 … 6
- ・絆（きずな）～釧路町と釧路駐屯地の紹介～ … 6
- ・防衛施設と周辺地域との調和を図るために … 7
- ・防衛省職員採用のご紹介 … 8
- ・平成28年度に採用された職員の声 … 10
- ・平成28・29年度自衛官募集 … 10
- ・平成29・30年度競争参加資格審査登録について … 10

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011-272-7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転(共同訓練)の実施について

平成28年12月5日から16日までの間、米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)を航空自衛隊千歳基地で実施しました。同訓練は平成18年5月に日米安全保障協議委員会(2+2)により発表された「再編実施のための日米のロードマップ」に基づき、二国間の相互運用性の向上と、沖縄県の嘉手納飛行場をはじめとする在日米軍飛行場周辺での訓練活動に伴う地元負担(航空機騒音)を軽減することを目的に、平成18年度以降、嘉手納、三沢、岩国の各米軍飛行場で行われている訓練の一部を千歳、三沢、百里、小松、築城、新田原の各空自基地へ移転実施するものです。今回の千歳基地での訓練は平成28年1月に続き8回目となります。

千歳基地に飛来したAV-8Bハリアー



見学する地元自治体関係者

米軍飛行隊長へのインタビュー



インタビューを受ける米海兵隊ファーガソン中佐

今回の訓練は、米海兵隊岩国基地第12海兵航空群所属のAV-8B×4機、人員約90名が、また、航空自衛隊から千歳基地所属のF-15×4機が参加し、北海道西方空域において実施されました。

北海道防衛局は米海兵隊が千歳基地に展開した12月2日から12月22日の撤収までの間、千歳基地内に「現地連絡本部」を設置し、地元自治体等関係機関への訓練に関する情報の提供をはじめ、物品等の調達、航空機騒音測定等、同訓練を円滑に実施するための各種支援等業務を行いました。

また、訓練に先立つ12月5日には、地元の理解促進を目的として、地元自治体や市議会議員、その他報道機関約70名に対する現地説明会を開催しました。第12海兵航空群第542海兵攻撃中隊指揮官のジョン・D・ファーガソン中佐と当局の辻企画部長が説明者として訓練の目的や意義、概要等について情報発信を行いました。

北海道防衛局による説明会

米軍ブリーフィング



米海兵隊ファーガソン中佐によるブリーフィング



挨拶を行う、辻企画部長(現地連絡本部長)

今回の訓練の期間中、事件・事故や周辺住民から騒音に関する苦情もなく、12月22日に無事訓練を終了することができました。北海道防衛局は、来年度以降も同訓練を、千歳基地周辺住民の方々への安心・安全のために万全を期すとともに、地元関係自治体と密接に連携を取りながら実施してまいります。

平成28年度 防衛問題ミニセミナーを開催しました

平成29年1月30日（月）、北海道防衛局では初の試みとなる少人数規模による「防衛問題ミニセミナー」を千歳市役所の若手職員に向けて開催しました。

この防衛問題ミニセミナーは、防衛政策や自衛隊の活動等について、地方公共団体の職員や商工会・青年会議所等のオピニオンリーダーといった地域の各方面の方々に御説明や意見交換を行うことで、防衛施設の設置・運用に対する理解を深めていただくとともに地域へ情報発信することを目的として開催しているものです。

今回のミニセミナーでは、北海道防衛局の辻企画部長から、防衛省の組織や日本周辺における安全保障環境及び北海道防衛局の業務について説明を行い、その後、参加者からの質問に答える形で進められました。

参加者からは、「防衛省・局の業務内容が理解できた。」、「局の業務が市と深く関わっていることを知ることができた。今後の業務の参考となった。」などの感想を頂きました。

当局では、今後も地域の皆様に防衛政策等についてより理解を深めていただけるよう、全道各地で防衛問題ミニセミナーを開催していく予定です。



質問する参加者



参加者からの質問に答える辻企画部長

南スーダン派遣施設隊(第10次要員)帰国

平成28年12月16日、南スーダン派遣施設隊第10次要員主力第2派が新千歳空港に到着し、出迎えた家族との再会を喜びました。

第10次要員は、第7師団隷下の第11普通科連隊、中力(ちゅうりき)1等陸佐を隊長に、第7師団を主体とした隊員約350名により編成され、約6か月にわたり、南スーダンの首都ジュバ及び同周辺において国連施設の整備、道路整備などの任務を行いました。

今回の任務においては、11月15日に施設器材小隊が実施したルワンダ航空隊敷地整地のタスク(任務)で、第1次要員から実施してきた総タスク数が記念すべき500に到達しました。隊長は「500タスク達成は、第10次要員の隊員1人ひとりが一丸となり任務遂行したことで成し得たものであり、全員が隊長要望事項である『誇りと感謝を胸に』を実践した成果である。南スーダンの平和と安定に寄与したものと確信している。」と述べ、これまでの努力に感謝の意を表しました。

第7師団は、12月17日、東千歳駐屯地において南スーダン派遣施設隊等(第10次要員)の帰国行事を行い、小林防衛大臣政務官ほか部内外からの来賓や遠くは九州から駆けつけた派遣隊員の家族等、約550名が出席しました。

写真：第7師団司令部総務課広報・渉外班



任務完了報告後の記念撮影



主力第1派出迎え(12月2日、東千歳駐屯地)



主力第2派出迎え(12月16日、新千歳空港)

派遣施設隊(第10次要員)防衛技官2名も帰国

南スーダンにおけるPKO活動には第1次隊から防衛省より技官が各2名派遣されています。今回の第10次要員としては濱川部員(設備職)と服部係長(建築職)の2名が派遣され、約6か月間にわたる南スーダンでの任務を完遂しました。

派遣された技官は、今まで自衛隊施設や米軍施設などの建設工事で培った技術や経験を活かし、派遣施設隊の隊本部において、UNMISS司令部工兵課や他国派遣隊への、排水、道路等の施設整備の計画・調整、設計及び施工や宿营地耐弾化等について、技術的助言を行っています。



UNMISS司令部工兵課で実施される工兵会議

平成29年 白馬連隊 年頭訓練

北恵庭駐屯地（第7師団隷下）の“白馬連隊”第72戦車連隊（連隊長 赤羽根1佐）は、平成29年1月6日、北海道大演習場島松地区第1戦車射場において年頭訓練を行いました。

訓練に先立ち赤羽根連隊長は「第72戦車連隊は第7師団の基幹である。どんな環境でも与えられた任務を完遂できるよう、練度を向上させよう。」と訓示しました。続く行進訓練では、寒風が吹き抜ける雪原を走行し、各車両は一直線に延びる道を1列に進みながら連隊長の前を通過し、平成29年の訓練が力強く始動しました。

訓練には、同連隊の他、第7後方支援連隊（第2整備大隊第2戦車直接支援中隊）も参加し、計人員約200名、90式戦車等車両45両をもって行われました。



写真：第7師団司令部総務課広報・渉外班

ミサイル駆逐艦「マッキャンベル」小樽港寄港

2月3日、神奈川県の米海軍横須賀基地所属のミサイル駆逐艦マッキャンベル（全長155.2m、全幅20m、排水量約9,250トン）が小樽港に寄港しました。

同艦は7日まで同港に滞在し、友好親善のため地域交流活動やボランティア活動の他、スポーツ交流、小樽雪あかりの路でスノーキャンドルの作成等を行い、小樽市民等と交流しました。



絆

(きずな)

～ 釧路町と釧路駐屯地の紹介 ～



〒088-0692 釧路郡釧路町別保1丁目1番地
 TEL 0154-62-2111 FAX 0154-62-2713
<http://www.town.kushiro.lg.jp/>



佐藤 広高 町長

■ 町長あいさつ

釧路町は、北海道東部に位置し、北は「釧路湿原国立公園」、南は「厚岸道立自然公園」の雄大な自然に恵まれた人口約2万人の町です。昭和40年代から釧路市のベッドタウンとして人口が増え、中心街はショッピングゾーンなどで賑わいがあります。原始時代からの歴史を刻む釧路湿原と青く広がる太平洋に面した自然の豊かさを活かしつつ、自然と住民生活の共存を目指しております。



細岡展望台から望む 釧路湿原



昆布森昆布5種セット

十勝管内の広尾町から根室市に至る、全長321kmに及ぶ「太平洋シーサイドライン」の釧路町域では、変化に望む絶壁と奇岩、ダイナミックな造形美が楽しめます。また、その海岸線に多くある難読地名は、本道でも類のない地名郡と言われております。老若舞(おしゃまっふ)、仙鳳趾(せんぼうし)などです。

食に関しては、2015年に東京の(財)食品産業センターの「本場の本物」に道内で唯一認定され、イタリアで開催したミラノ万博へも出展された「さおまえ昆布」や、身が締まって甘みとコクが絶品の「仙鳳趾産牡蠣」などが人気です。また、釧路町ブランド「ほくげん大根」は、肌がきれい形で形状が良く、水分も多いのが特徴で、昆布などと共に、東京や関西などの本州市場にも出荷され、人気を博しております。

釧路町ブランド「ほくげん大根」など



ローソク岩



活かき



■ 釧路駐屯地との関わり

災害派遣時はもちろんのこと、町主催の防災訓練では、警察・消防等関係機関とも連携し、迅速・適切な対応をしていただいております。また、ボランティアでの町森林公園の整備のほか、町発祥スポーツ「長ぐつアイスホッケー」や野球部の釧路町杯への参加、釧路町文化賞(平成24年)を受賞した釧路自衛隊日本太鼓保存会の各種イベント参加など、文化・スポーツによる交流も図っております。

63年の長きにわたり、このように地域との深い信頼関係を築き上げられており、今後とも、町の安全・安心のために、共に取り組んでまいりたいと考えております。



防災訓練

釧路駐屯地は、釧路町に所在し、所在部隊は、第27普通科連隊を基幹として10個部隊が駐屯しています。釧路空港から車で東へ約30分、JR釧路駅から車で北東へ約20分の所にあり、東北海道の玄関口である釧路市に隣接しています。

駐屯地は、昭和28年10月函館に駐屯していた普通科第4連隊第3大隊が移駐し当地に開設されました。太平洋戦争末期には、駐屯地周辺地域に郷土出身部隊である陸軍歩兵第27聯隊(れんたい)が本土防衛のため展開していました。その中で聯隊本部が所在していた場所が現在の釧路駐屯地であり、終戦に伴って軍旗を奉焼し、明治建軍以来47年の歴史に幕を下ろしたという歴史ある土地でもあります。なお、軍旗を奉焼した歩兵聯隊の最終位置に、同一番号を付与された普通科連隊が所在するという例は他にありません。

担当地域は、釧路総合振興局・根室振興局管内を合わせた東西約180km、南北約84km、面積は約9,500平方kmに及び、東京・千葉・神奈川を合わせた面積とほぼ同じ広さです。

諸先輩が築かれた輝かしい伝統を継承しつつ日夜訓練に励み、災害派遣をはじめ地域行事への積極的な参加など「地域とともに歩む信頼される駐屯地」を目指して日々取り組んでおります。



駐屯地創立記念行事



釧路駐屯地正門(現在)



釧路駐屯地正門(昭和37年当時)

防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～民生安定施設整備事業（コミュニティ供用施設）の紹介～

防衛省は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、防衛施設周辺において、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、公園、消防施設、農業用施設等の各種施設を補助対象施設として助成事業を行っています。

民生安定施設整備事業のコミュニティ供用施設は、防衛施設に起因する事故等が発生した際に避難所となる施設の整備に対し、その費用の一部を補助しています。

今号では、平成28年10月に完成した帯広市の清流の里福祉センターについてご紹介します。

清流の里福祉センター（帯広市）

清流の里福祉センターの周辺上空は、十勝飛行場を離着陸する陸上自衛隊のヘリコプターが飛行訓練を行っていることから、帯広市の要望等を踏まえ、避難所となる同施設を整備することになったものです。

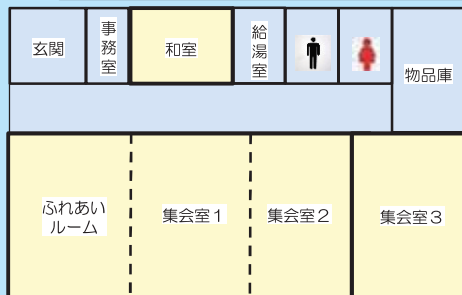
なお、同施設は、普段は周辺住民の方の集会等に活用されています。

【補助事業の概要】

- 補助対象事業費：1億400万円
- 補助額（定額）6,200万円
- 構造等：木造平屋A=367㎡



全景



和室

市の担当者の声：

地域から要望のあった集会施設が整備され、万が一の際に、避難できる施設が確保されることから、地域の方の安心安全や地域活動の活性化に貢献できると考えます。

利用者の声：

地域の集会施設はここだけなので、住民の交流の場となっている。災害時の避難場所ができたことで、地域の安心にもつながっている。



ふれあいルーム
集会室1・2

利用状況



集会室3

利用状況



集会



リクリエーション



リクリエーション

防衛省職員採用のご紹介

北海道防衛局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）の合格者から職員（事務職、技術職）を採用しています。

また、この他、独自に語学職、国際関係職については、防衛省専門職員採用試験を実施し、採用を行っています。

一般職（事務職、技術職）

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

行政 / 電気・電子・情報 / 機械 / 土木 / 建築

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）

事務 / 技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）

専門職（語学職、国際関係職）

防衛省専門職員採用試験

語学（英語、ロシア語、中国語、朝鮮語） / 国際関係（英語、ロシア語、中国語、朝鮮語）

※年度によって、採用を行わない試験区分があります。

※試験の詳細は人事院ホームページ及び防衛省ホームページをご参照ください。

人事院
ホームページ



防衛省
ホームページ



平成28年度に採用された職員の声



調達部 土木課
岩谷 隆広（いわたに たかひろ）
一般職（高卒者）技術（土木系）

高校を卒業したばかりの約1年前、私は社会人として新しい生活を開始しました。入省直後は、何をしたら良いのか分からず、上司から指示されたことをそのまま実行するしか出来ませんでした。日々、様々なことを経験することで、少しずつですが次に何をすべきか分かりはじめ、とても勉強になる毎日です。

現在は、主に土木工事の監督業務に従事しておりますが、現場では、高校で勉強した土木工事の施工に係る品質管理試験（現場密度試験、コーン指数試験）を自ら行い、その目的を再確認するなど、とても良い経験になっています。

2年目は、1年目で学んだことを基に技術力を高めるとともに、新しいことにも挑戦していきたいと思えます。



帯広防衛支局 施設課
岡崎 拓海（おかざき たくみ）
一般職（高卒者）事務

私は室蘭市の出身で、昨年4月に採用され、帯広防衛支局の施設課に配属になりました。帯広では、これまでに経験したことのない寒さと戦っております。

私がこの職場を選んだ理由は、幼い頃から歴史や軍事に興味があり、それらに関わる仕事がしたいと思っていたからです。そんな私は現在、地方自治体や民間の方との土地や施設等の賃貸借契約業務を主に担当しております。初めは仕事の内容だけではなく、書類の名称や周囲で飛び交う用語も分からず、迷惑をかけることが多々ありましたが、あっという間に約1年が経過してしまいました。

現在では仕事面で幾分か貢献できるようになったと思いますが、2年目は1年目の経験等を糧として、公私ともに様々なことに挑戦していきたいと思えます。

調達部 設備課

小川 瑞貴 (おがわ みずき)
一般職 (高卒者) 技術 (電気・情報系)

私は、国家公務員試験の説明会で、地方防衛局の存在を初めて知り、そこで、職員の方のお話を聞き、高校で学んだ電気以外の分野の勉強も出来ると思い、防衛局を志望し、入省しました。

現在は、主に防衛施設の通信設備の設置や改修に関する工事の監督業務に従事しており、実際に現場に赴き、工事の進捗状況などを自分で見るのが新鮮で、日々、勉強になっています。

また、工事の実施にあたっては、受注者としっかりと打合せをし、綿密に計画を立てることで、初めて工事が上手く進んでいくことを知りました。

監督官としての仕事もまだまだ未熟ですが、先輩のように少しでも早く仕事をこなせるように努力していきたいと思えます。



総務部 総務課

佐藤 綾音 (さとう あやね)
一般職 (大卒程度) 行政

私は昨年11月に入省し、総務部総務課人事係に配属されました。現在、主に給与関係の業務に携わっています。

制度や仕組みなど、分からないことばかりですが、上司の方々に助けていただきながら日々仕事に取り組んでいます。また人事係ということで、直属の上司の方だけでなく、各課等の職員の方々と接する機会が多いことから、その分たくさんの先輩方に様々なことを教えていただいています。

まだまだ分からないことばかりですが、一日でも早く自分も、職員の方々を内側から支えるという仕事に貢献できるよう、日々勉強し、励んでいきたいと思っています。



企画部 周辺環境整備課

児島 咲紀 (こじま さき)
一般職 (大卒程度) 行政

入省してから10か月が過ぎましたが、時間の経過があまりに早く驚いています。未だに分からないことが多く、周りの方にたくさん迷惑もかけてしまっていますが、それでも優しい方々に囲まれて毎日楽しく、一日一笑をキープしつつしっかりと業務に取り組んで来られました。

社会人2年目となる来年度は、また新規採用者が入ってちょっとだけ先輩になるので、これまで以上に精進するのはもちろんのこと、一日一爆笑にパワーアップして充実した日々を送りたいと思います！



企画部 防音対策課

村山 陽亮 (むらやま ようすけ)
一般職 (大卒程度) 行政

去年の4月に入省し、もう少しで1年が経とうとしています。

現在、私は自衛隊の演習場周辺に建っている住宅に対して、住宅防音工事の助成を行う業務に携わっています。

その業務は音の伝わり方や建物の構造について等、専門的な知識が必要であり難しい部分もありますが、新しい知識を身につける機会や、地域の住民の皆さんに感謝される機会もあり、やりがいを感じています。

今はまだ先輩の助けを借りて日々の業務を行っていますが、少しでも早く一人前になれるよう努めています。



企画部 周辺環境整備課

澤田 大輝 (さわだ だいき)
一般職 (高卒者) 事務

昨年4月に入省し、あっという間に10か月が経過しました。

私の所属する周辺環境整備課では防衛施設周辺の自治体への補助金等の交付を行っています。

入省から10か月経った現在も常に新しい知識や情報を取り入れ、毎日が勉強の日々です。

最初は本当に何もわからないことだらけの日々でしたが、先輩や上司に助力いただきながら少しずつ学んでいます。1年目で学んだことを活かし、2年目以降も取り組んでいきたいと思っています。





平成28年度自衛官等募集案内



| 募集種目 | 応募資格 | 受付期間 | 試験期日 | 合格発表 |
|------------|---------------|----------------|----------------------------------|---------------------|
| 自衛官候補生(男子) | 18歳以上27歳未満の男子 | 年間を通じて行っております。 | 札幌・旭川・函館・帯広の各地方協力本部へ直接お問い合わせ下さい。 | 合格発表日は、試験日にお知らせします。 |

平成29年度自衛官等募集案内

| 募集種目 | 応募資格 | 受付期間 | 試験期日 | 合格発表 |
|--------|--|--|--|--|
| 予備自衛官補 | 一般 18歳技能以上34歳未満の男女 | ①28年 12月22日(木) ~ 29年 4月7日(金) | ①4月14日(金)~18日(火) ②9月30日(土)~10月3日(火) | ①5月19日(金) ②11月10日(金) |
| | 技能 18歳以上で国家免許資格等を有する男女(資格により53歳未満~55歳未満の男女) | ②29年 7月1日(土) ~ 9月16日(土) ※1 | ※ いずれか一日を指定されます。 | |
| 幹部候補生 | 一般 22歳以上26歳未満の男女(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者(見込含)は、29歳未満の男女) | 3月1日(水) ~ 5月5日(金) | 1次:5月13日(土)・14日(日) 2次:6月13日(火)~16日(金) 海・空飛行要員のみ 3次(海):7月10日(月)~ 14日(金) (空※2):7月15日(土)~ 8月3日(木) | 1次:6月2日(金) 海・空飛行要員のみ。 2次(海):7月3日(月) (空※2):7月7日(金) 最終 (陸・海):8月4日(金) (空※2):9月1日(金) |
| | 一般 20歳以上28歳未満の男女 | | 1次:5月13日(土) 2次:6月13日(火)~16日(金) | 1次:6月2日(金) 最終:8月4日(金) |
| | 歯科・薬剤師 専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満の男女(薬剤科は20歳以上28歳未満の男女 ※3) | | | |

- ※1:第1回で採用予定数を採用した場合、第2回は実施しない場合があります。
- ※2:航空自衛隊の3次試験、2次及び最終合格発表は変更する場合があります。
- ※3:①学校教育法に基づく大学において、正規の薬学の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(平成30年3月卒業見込みの者を含む。)、②外国の薬学校を卒業し、又は外国の薬剤師免許を受けた者で、厚生労働大臣が①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者、③平成18年度から平成29年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制薬学課程を修めて卒業し、かつ学校教育法に基づく大学院において薬学の修士又は博士課程を修了した者であって、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定めるところにより、①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者に限ります。

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



函館地方協力本部
0138(53)6241



帯広地方協力本部
0155(23)5882

お知らせ

平成29・30年度競争参加資格審査登録について

インターネットによる防衛省所管の建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務の一般競争(指名競争)参加資格申請受付は、平成29年1月13日で終了しました。

なお、平成29年4月1日から郵送での随時登録を受け付けしますのでお問い合わせください。
また、会社情報の変更や申請職種の変更等についても、随時登録として引き続き郵送で受け付けていますので併せてお問い合わせください。

※ 競争参加資格審査登録は、防衛省が発注する建設工事等の競争入札等に参加する際の参加要件(希望する業種毎の級別の格付等)に必要な手続きです。

追加申請(随時登録) H29.4.1以降随時郵送で受付

お問い合わせ先:北海道防衛局総務部契約課

電話 011-272-7513